

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2025年度(令和7年度)第6回理事会議事録

1. 開催日時 2026年3月25日(水)13:00-15:45

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 18名 (定足数11名)

4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 富士原(阿部) なつ江

理事 河宮 未知生

理事 原田 尚美

理事 高橋 幸弘

理事 沖 大幹

理事 成瀬 元

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 大谷 栄治

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 関 華奈子

理事 田近 英一

理事 長谷川 直子

理事 堀 利栄

理事 村山 泰啓

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

監事 松本 淳

出席オブザーバー

大気水圏科学セクションプレジデント 佐藤 薫

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

固体地球科学セクションバイスプレジデント 沖野 郷子

地球生命科学セクションセクションプレジデント 大河内 直彦

地球生命科学セクションバイスプレジデント 黒柳 あずみ

ダイバーシティ推進委員会委員長 若狭 幸

審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 新委員承認の件

・ジャーナル編集委員会の新規委員を審議した。名簿の通り承認した。

第 3号議案 2026年度事業計画書および収支予算書承認の件

・事業計画書とその附属資料（収支予算書等）を審議した。事業計画書とその附属資料（収支予算書等）を承認した。

第 4号議案 JpGUフェロー承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、フェロー候補者6名を審議した。審議の結果、推薦の通り6名をフェローとして承認した。

第 5号議案 日本地球惑星科学学術賞（三宅賞）受賞者の件

・審査委員会からの推薦に基づき、候補者1名を審議した。審議の結果、推薦の通り受賞者を承認した。

第 6号議案 国際貢献賞受賞者承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、候補者1名を審議した。審議の結果、推薦の通り受賞者を承認した。

第 7号議案 会長賞受賞者承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、候補者3名を審議した。審議の結果、推薦の通り受賞者を承認した。

第 8号議案 和達賞（固体地球科学セクション賞）受賞者承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、候補者1名を審議した。固体地球科学セクション沖野バイスプレジデントから候補者の紹介があった。審議の結果、推薦の通り受賞者を承認した。

第 9号議案 倫理規則改定の件

・今回は審議を取り下げる旨、長谷川理事より説明があった。

第 10号議案 役員選出の件

・リーダーシップの推薦による理事候補者と抱負の紹介があった。審議の結果、推薦された理事候補者を役員候補者推薦委員会に候補として提出することが承認された。

・セクションによっては、分野の偏りがあるように見られるので、リーダーシップにはその点に留意してほしかったというコメントがあった。ジェンダーバランスや年齢を考慮した結果であるとの説明や、そのうえで一定の配慮はしたとの説明があった。また理事候補者選挙に立候補した代議員が少なく、その時点で偏りがあったという経緯について説明があった。今後は代議員選挙や理事候補者選挙の段階でいろいろな面でのバランスがよくなるように積極的に周知活性化するのがよいという意見があった。

第 11号議案 職員新規雇用の件

・事務局職員を雇用することを審議した。1名の雇用を承認した。

3. 報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

・AGU会長Brandon氏と会合を行い、JointMeetingのプレナリー講演などについて相談した。

・地学オリンピック日本大会の表彰式に出席し日本地球惑星科学連合賞の授与を行った。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・ JpGU-AGU大会に付随してAGUの執行部のメンバーを招待するイベントが行われる予定で、その一部である博物館訪問の企画を会長らと連携して進めている。
- ・ 事務局に新しい職員を雇用する手続きを道林理事や事務局と相談して進めている。近日中に候補者一名と面接の予定。
- ・ 他にも会長らと連携して、今後の国内・国際活動に関する議論や検討を随時行っている

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

○ダイバーシティ関連の報告があった。

- ・ 2027年のInternational Day of Women and Girls in Scienceに、活動の紹介などができないか検討している。
- ・ Global Geoscience Societyのダイバーシティ関連活動について、9月にWebinarを開催するため、テーマを検討している。

4. 河宮 未知生理事 職務報告

○スポンサー関連の報告があった。

- ・ 1月にスポンサー募集を開始したが、募集時期が遅かったため応じるのが難しいという反応があった。募集はもっと早い時期に始めるべきであった。

5. 原田 尚美理事 職務報告

- ・ U-01 Great Debateの準備を進めている。ディスカッションに時間を割くため、一人8分という変則的な編成になっている。内閣府から科学技術イノベーション基本計画に関わった方を招いて講演をいただく。是非若手研究者に聴講していただきたく、理事の皆様にも周知をお願いしたい。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・ 人工知能学会（JSAI）との連携活動について報告があった。GeoSciコンペの開催のために先方に研究会活動を申請しており、これまで時限付きだったが今回は時限なしのものとして申請中である。現在はコンペのみであるが、今後は共催での研究会を開催しJSAI側でも宣伝していただくことを検討している。
- ・ Earth Observation AustraliaのManagement Committeeメンバーに選ばれたStuart Whitman氏と、3月20日にオンライン面談を行った。交流促進のためにJpGU大会に招待し、International Partnershipを結ぶことを中心に可能性を検討したい。グローバル戦略委員会で検討していただく予定。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・小委員会規則（内規）について検討した。小委員会規則（内規）は理事会承認を必要とせず、委員会により改訂できることを確認した。
- ・後援・協賛・共催イベントおよびサポートレターについて報告があった。
- ・事務局より代理で退職者のための慰労金について報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- 財務関連の報告があった。
- ・財務委員会を開催し次年度予算を検討した。
- ・寄付者名簿について報告があり、JpGU-AGU2026でも寄附者ラウンジを設置するという報告があった。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

- 大会準備状況の報告があった。
- ・発表者の参加登録締め切りが4月16日という報告があった。
- ・参加登録状況の報告があった。順調に推移している。
- ・投稿採択数は5880件となった。前回に比べ1割以上の増加となった。口頭・ポスターはおよそ半々となる。
- ・コマ割りについて発表があった。投稿数に応じて増減があったが、減少数によって増加分は吸収できている。
- ・プレナリー講演、Great Debateについても開催を予定している。
- ・ハイブリッド大会参加者促進策の応募状況について説明があった。
- ・講演会場配置について説明があった。
- ・ポスター発表方法について説明があった。
- ・中高生発表セッションについて準備状況の説明があった。現在は発表申し込み受付中である。
- ・プレナリートークとGreat Eventの説明があった。また、巡検、就活支援イベントが昼に予定されているが、重複を避けるため調整予定である。
- ・OSPAの応募状況、学生旅費補助、学生アルバイト募集の準備状況の説明があった。
- ・会合利用について説明があった。昨年同様である。
- ・同伴者の入場方法について、昨年同様であるという説明があった。

- ・開催イベントの説明があった。昨年同様多数の申請があり、この後必要事項を確認した後ウェブ掲載のための申請に続く。表彰式、巡検、NGT、懇親会について詳しい説明があった。

- ・展示ブースの予約状況や展示場の配置について説明があった。

- ・水・コーヒーの提供について、紙コップの配布はとりやめる。タンブラーや水筒の持参を推奨する。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

○グローバル戦略関連の報告があった。

- ・EAGE (European Association of Geoscientists and Engineers)からMOU締結の打診があり検討している。

- ・JpGU-AGU Joint MeetingのFriends Areaでの活動において、理事や代議員に担当を募ることを検討している。

- ・International Mixer Eventを例年ランチタイムに開催していたところ、26日朝に開催することを企画している。

- ・多様化促進事業「B.開発途上国居住者支援」38件を承認した。

- ・Promotion Movieが完成した。

- ・Global Geoscience SLのイベントを26日に予定している。

- ・AGU Task Team活動の報告があった。最近低調であるので見直しをAGUに呼びかけることを検討している。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

○広報普及関連の報告があった。

- ・3月20日（金・祝）に東北大学理学部との共催で「ぶらりがくfor ハイスクールwith JpGU」を開催した。

他の大学でも是非共催できるイベントがあれば紹介してほしい。

- ・JGL5月号の準備状況の報告があった。大会の情報は例年よりやや簡素化して掲載する。JGLとは別に英語のコマワリ表を印刷して大会会場で配布する予定である。

- ・大会に向けてSNSでの情報発信を活発に行う。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

○パブリックセッションおよびユニオンセッションについて

- ・パブリックセッション [O-02] 気候変動と再生可能エネルギー利用の課題を開催する。ヒートポンプの実用化でも地球科学の視点が重要であることを、ぜひ一般の方々にも知っていただきたく、周知をご協力お願いしたい。

- ・ユニオンセッション U-15 [E] 多様な自然災害関連情報の利活用：被害軽減に向けた統合・展開 インドネシアの防災関係のトップ President of Indonesian Disaster Expert Association、ほか、台湾や米国からの研究機関からの発表も予定している。

- ・セッション後に海外からの参加者も含めた情報交換会の開催も検討中である。

○「2026年ぼうさいこくたい」について

- ・10月17-18日@鳥取県倉吉市で開催される「2026年ぼうさいこくたい」に出展する。ここ数年、環境災害対応委員会としてポスターボード2枚のパネル展示を申し込み、環境災害対応委員会と防災教育小委員会で1枚ずつ掲示している。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

- ・保育学童各種イベントの準備を進めている。
- ・多様化促進事業のダイバーシティ推進支援の対象者を審査した。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

○教育検討関連の活動報告が事務局より代理であった。

- ・3月8日に中高地学教育関係者情報交換会を開催した。6年ぶりの対面による情報交換会で、活発な議論が行われ、参加者からも大変好評を博した。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

○情報システム関連の活動報告があった。

- ・RDM-TFを、今期をもって終了しオープンサイエンス小委員会に移行したい。RDM-TFの現在のメンバーをオープンサイエンス小委員会のメンバーとすることを予定している。
- ・オープンサイエンス小委員会の規則を改訂し、「第2条(1) 研究データ管理（RDM）を含むオープンサイエンスに関する委員間の情報交換を行い、また推進方策について議論を行う。」とする。
- ・システムリプレイスについては綿密なスケジュールの下進めている。予稿投稿システム、Confitはじめ各方面と調整を進めている。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事）

○ジャーナル関連の報告があった。

- ・総編集長が川幡委員から吉岡祥一委員へ交代することが決まった。

・論文の投稿・出版状況の説明があった。順調に進んでいる。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

○顕彰関連の報告があった。

・各賞の審査にオブザーバーとして参画した。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後15時45分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2026年3月25日

出席理事 ウォリス サイモン 印

出席理事 小口 高 印

出席理事 富士原（阿部） なつ江 印

出席理事 河宮 未知生 印

出席理事 原田 尚美 印

出席理事 高橋 幸弘 印

出席理事 沖 大幹 印

出席理事 成瀬 元 印

出席理事 道林 克禎 印

出席理事 和田 浩二 印

出席理事 大谷 栄治 印

出席理事 小口 千明 印

出席理事 掛川 武 印

出席理事 関 華奈子 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事 長谷川 直子 印

出席理事 堀 利栄 印

出席理事 村山 泰啓 印

出席監事 鈴木 善和 印

出席監事 春山 成子 印

出席監事 松本 淳 印